

ねりま



練馬区の
地域活動団体などを
毎月紹介しています!



地域活動ニュース

発行：練馬区立区民協働交流センター

vol.112

今月の紹介団体 ****



2面

ふらっとシネマ

山本 典花(やまもと のりか) さん



3面

練馬区パラスポーツ研究会

原田 直美(はらだ なおみ) さん



地域福祉活動のための
活動資金を助成します!

練馬区社会福祉協議会 事業説明会 & 団体交流会

練馬区社会福祉協議会では、共同募金(赤い羽根共同募金・歳末たすけあい運動募金)を原資とし、福祉施設などにおける備品購入や小規模修繕、研修・交流事業などの費用を助成しています。また、地域住民が主体となって取り組む地域福祉活動に対して、活動費の助成を行います。

9月25日(金) 13時30分～15時30分

区民・産業プラザCoconeri 3階 研修室1

【第一部】助成金の概要、助成要件、申請方法など

【第二部】団体交流会 ※第一部、第二部、どちらかみの参加もOKです!

申込締切：9月15日(火)

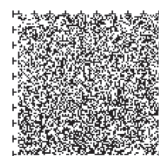


【申込み・問い合わせ】

社会福祉法人練馬区社会福祉協議会 助成事業担当

TEL：03-3992-5600 Email：haibun@neri-shakyo.com

申込みフォーム



専用アプリのUni-Voiceを使用して右のコードを読み取ると記事の情報を音声で読み上げます。

音声コード

誰もが映画を楽しめる場を目指して

ふらっとシネマ



代表の山本 典花さん

映画を通じて、地域交流や文化体験の機会を広げることを目的に活動しているのが「ふらっとシネマ」です。“映画版こども食堂”のイメージで、誰もが気軽に立ち寄れる場を目指しています。数か月に1度、石神井公園商店街にある地域のコミュニティ・レンタルスペース「ふれあい広場」で上映会を開催しています。

「映画は座っているだけで世界を広げてくれる文化です」と話すのは、代表の山本さん。「障がい

の有無や年齢、経済状況に関わらず、どんな人でも作品を楽しみ、その感動を初めて出会った人と分かち合える場をつくりたい」という思いから福祉について学

ぶため、つながるカレッジねりま福祉コースへ参加し、2025年9月に同期生の仲間と団体を立ち上げました。

2026年3月に、ドキュメンタリー映画『人生フルーツ』を初上映。10代から90代までの地域の幅広い世代がまさに「ふらっと」集まり、作品を楽しみました。上映後は「感想共有会」を実施し、参加者同士が感想を語り合う機会を設けました。

「同じ映画を観た者同士だからこそ自然に会話が生まれ、世代を超えた交流や新たな発見につながっていくのだと思います」と山本さんは話します。

今後は、「活動の継続と定着を目指し、より多くの人に映画を届ける取り組



第2回上映会「パベルの学校」のリハーサルの様子。ミニトーク、多言語対応など新しい試みを取り入れました

みを進めていきたい」とのこと。9月には次の上映会が行われるほか、2027年1月には大泉学園ゆめりあホールで、好評だった『人生フルーツ』の上映会を予定しており、地域の飲食店などへ出向く「出張ふらっとシネマ」の構想も進めています。

「地域に根付き、自分たちの後を誰かが受け継いでくれるような場になれば」と山本さんは将来の展望を語ってくれました。

現在メンバーは14人で、まだまだ仲間を募集中です。

「どんな人でも大丈夫。デザインの得意な人が団体のロゴを作ったり、裁縫の得意な人と刺繍の得意な人でスタッフ用の腕章を共作したりと、みんな自分にできることを活かして活動しています。誰でも何かしらできることがあります。一緒に活動しませんか？」

興味のある方は連絡してみてもいいでしょうか。

■ふらっとシネマ

代表：山本 典花

住所：練馬区石神井町3-17-13

(ふれあい広場)

メール：flat.cinema37@gmail.com



『人生フルーツ』上映会は、定員20席が満席に。1日3回の上映予定でしたが、急遽4回目の追加上映を実施し、計85名が鑑賞しました

地域活動団体助成金等情報

助成内容や応募条件などは各助成金によって異なりますので、必ず事前に詳細を確認してください。募集要項・申請書類については、各ホームページからダウンロードしてください。

■NPO法人 まちぽっと「ソーシャル・ジャスティス基金(SJF)」

【助成対象】未来を担う世代が中心になって取り組むアドボカシー活動 特設テーマ「あらゆる人が共生できる社会、自然と共生する社会」／基本テーマ「見逃されがちだが、大切な問題」

【助成金額】1件あたりの上限額：100万円

【応募期間】2026年9月1日～9月17日

【関連URL】<https://socialjustice.jp/p/2026fund/>

【問い合わせ】NPO法人 まちぽっと ソーシャル・ジャスティス基金(SJF)

E-mail：info@socialjustice.jp

■公益財団法人 日工組社会安全研究財団

「安全事業に関する助成」

【助成対象】犯罪の予防活動を中心にした下記の活動

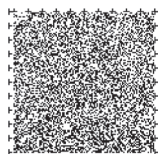
- ・安全・安心なまちづくり
- ・青少年を守る対策
- ・女性等を守る対策
- ・その他犯罪情勢に対応した対策

【助成金額】1件あたりの上限額：広域安全事業 200万円／県域安全事業 80万円 ※1つの団体が両方に応募することはできません

【応募期限】2026年10月31日

【関連URL】<https://www.syaanken.or.jp/?p=14620>

【問い合わせ】公益財団法人 日工組社会安全研究財団事務局(安全事業助成募集係) E-mail：anzen-josei@syaanken.or.jp



パラスポーツと人の輪を広げたい

練馬区パラスポーツ研究会



代表の原田 直美さん（右端）とメンバーの皆さん

2022年に設立された「練馬区パラスポーツ研究会」は、パラスポーツ指導員の資格を持つメンバーが立ち上げた団体です。

「障がい者が行うスポーツというと、車いすテニスやブラインドフットボール、ボッチャなど、パラリンピックの公式競技を思い浮かべる方が多いかもしれませんが、気軽に楽しめるものも多くあります」と話すのは、代表の原田さんです。



発達障害児を対象にしたスポーツ教室で誕生したという「ペガボール」。鬼を追いかけ、子どもたちは夢中で駆け回ります！

面ファスナー付きのポンチョを着た鬼役に向けて布製のボールを投げてくっつける「ペガボール」や、大きく膨らませた風船を使った「ふうせんバレーボール」など、障がい者も健常者も一緒になって思い切り体を動かせるさまざまなスポーツがあるそうです。ゲーム性がある体力向上につながるこうしたスポーツの楽しさを伝え、障がい者のスポーツ実施率を高めるために、練馬区ペガボール協会と協力し、ねりま遊遊スクールなどで体験会を行っています。

パラスポーツの効果で参加者の変化を感じられるのが何よりもうれしい、と原田さん。身体に障がいがある女性が勢いよくペガボールの玉を投げたのを見て、支援者が「そんな動きができるの！」と驚いたこともあったそうです。



ゆっくりふわふわと動く風船を打つ「ふうせんバレーボール」

「普段使っていない筋肉を動かしたり、日常とは違う楽しいことをしたりすると、思いがけない効果を生み出す場合があります」と原田さんは話します。

同団体は、10月4日にココネリで開催される「2026パラスポーツ交流会」の運営にも関わっています。2部制で、前半は誰でも参加できるパラスポーツの体験会、後半はパラスポーツ指導員や指導員を目指す方の交流会を計画中のことです。指導員の資格を持っているのに、活動の仕方がわからず、せっかくの資格を活かせていない方がいるのだそうです。

「パラスポーツの楽しさを伝えるだけでなく、この交流会を通して指導員同士が情報交換を行い、活動の輪が広がることを期待しています」と原田さんは目を輝かせます。

パラスポーツを体験してみたい方、指導員の活動に興味のある方はぜひ会場を訪れてみてください。

■練馬区パラスポーツ研究会

代表：原田 直美

TEL：090-6509-0989

メール：jcf9773a3@gmail.com

■公益財団法人 愛恵福祉支援財団

「社会福祉育成活動のための助成金」

【助成対象】以下の社会福祉事業（福祉施設の運営、福祉活動）を行う民間の団体が必要とする設備、備品類に対する助成

- ・子どもたちの健全な育成
- ・地域コミュニティの活性化
- ・社会的弱者に対する活動
- ・被災などで見えてきた課題に対する活動
- ・国内における国際的活動など

【助成金額】1件あたりの上限額：30万円

【応募期限】2026年9月30日

【関連URL】<https://aikei-wf.or.jp/action/grant.html>

【問い合わせ】公益財団法人 愛恵福祉支援財団

〒114-0015 北区中里2-6-1 愛恵ビル5F

TEL：03-5961-9711

■公益財団法人 大和証券財団「ボランティア活動助成」

【助成対象】

- ①高齢者、障がい児者、子どもへの支援活動及びその他、社会的意義の高いボランティア活動
- ②地震・豪雨等による大規模自然災害の被災者支援活動

【助成金額】1件あたりの上限額：30万円

【応募期限】2026年9月15日

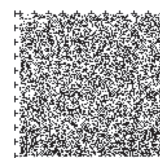
【関連URL】<https://www.daiwa-grp.jp/dsz/grant/volunteer.html>

【問い合わせ】公益財団法人 大和証券財団事務

局 〒104-0031 中央区京橋1-2-1

大和八重洲ビル

E-mail：zaidan@daiwa.co.jp



区民協働交流センター(つながる窓口)を活用しませんか?



区民協働交流センター(つながる窓口)では、様々な取り組みを通じて皆様の地域活動を応援しています! ぜひご利用ください!

施設のご案内

多目的室(2部屋)

※要予約・有料

会議や活動スペースとして利用できます。2部屋の間仕切りを開けて1部屋としても利用可能です。



作業コーナー

※予約不要・一部有料

チラシやポスター、資料の印刷、丁合ができるコーナーです。作業に役立つ機器も利用できます。

設置機器: 複写機(カラーも可)、印刷機(白黒)、紙折り機、裁断機、拡大複写機(カラー)、大型穴あけパンチ、大型ホチキス

交流コーナー

※予約不要・無料

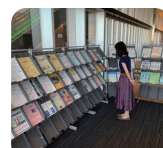
長机と椅子があり、簡単な打ち合わせや話し合いに利用できます。



情報コーナー

※予約不要・無料

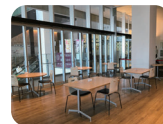
地域で活動する団体の皆様が作成したチラシ(A4判以下)の配架や、ポスター(A2判以下)の掲示ができます。



喫茶・軽食コーナー

社会福祉法人章佑会「やすらぎ夢工房」がコーヒー等の飲み物や軽食を販売しています。

● 営業時間/10時~16時(日曜日定休)



団体登録のご案内

町会・自治会、NPO法人、ボランティア団体など、練馬区内で公益的な活動を行う団体は、区民協働交流センターの団体登録ができます。団体登録をすると、以下のようなメリットがあります。ぜひご検討ください!

※団体登録には一部要件があります。

●もしもの時の…

地域活動保険に加入できます!

地域活動団体の皆様が安心して活動できるよう、活動中の思わぬ事故を対象とした保険です。



●団体のPRになります!

区民協働交流センター窓口や「つながるカレッジねりま」のポータルサイト等に団体情報を掲載することができます。



つながるカレッジねりまポータルサイト

●ロッカー兼メールボックスを利用できます!

団体内の情報交換や資料の保管等に活用できます。



● 多目的室の利用について、6か月前から申込みができます。(通常は前月~2か月前)

● 作業コーナーの利用について、予約ができます。(通常は予約不可)

練馬区立区民協働交流センター(つながる窓口)

区民協働交流センター(つながる窓口)では、町会・自治会、NPO、ボランティア団体などの活動に関する相談を随時受け付けています。どうぞお気軽にご利用ください。

【事前予約が必要な相談内容】

- ① NPO法人の立ち上げ、運営等に関すること
- ② 会計・税務に関すること
専門の相談員や税理士が対応しますので、事前に電話でのご予約をお願いします。

練馬 1-17-1 ココネリ3階 TEL:03-6757-2025 年中無休 9時~22時(12/29~1/3は休業)
事業の実施等により開館時間に変更となる場合があります。



facebook



<https://www.facebook.com/Nerimakkyodokoryucenter/>

練馬区立区民協働交流センター フェイスブック 検索



X(旧twitter)



https://twitter.com/kyodo_nerima

練馬区立区民協働交流センター エックス 検索

ホームページ

※過去の地域活動ニュースも掲載中
<http://www.nerima-kyodo.com/>



練馬区立区民協働交流センター 検索

★音声でお読みいただけます

「ねりま地域活動ニュース」は音声で伝える「視覚障害者用」録音版を貸し出しています。ご希望の方は一步の会にお申し込みください。

NPO法人点訳・音声訳集団一步の会 練馬区高松 2-16-12 TEL:03-3577-5666